

第4回 豊明市文化財保護委員会会議録

日時：平成31年3月14日（木）午後1時30分～4時30分

場所：豊明市役所分庁舎2階 会議室2

出席者：佐野委員、三浦委員、成田委員、鈴木委員、近藤委員、岡村委員、永井委員
事務局：小串教育部長、高木生涯学習課長、青木係長、岸田主査、神谷社会教育指導員

傍聴人：なし

1 副委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 平成31年度 文化財保護委員会事業計画の承認について

- ・次年度はイシモチソウと大狭間湿地の同時公開を2回に分けて実施する。1回目の公開時のみマイクロバスの運行を行う。
- ・イシモチソウの国指定保存活用計画策定のため審議会を開く。6月下旬に文化庁調査官と県が現地視察を行い保全計画の協議にオブザーバーとして入る。

(2) 平成31年度 大狭間湿地保全計画の承認について

- ・保全整備委託を結ぶ豊明自然観察会からの保全計画書が提出され、承認された。イシモチソウとの同時公開を2回に分けて開催する。例年どおり10月にも一般公開し、季節限定の花を見学できる機会をつくる。
- ・次年度の湿地サミットは9月10（火）に名古屋市守山区の八竜湿地で開催する。
- ・大狭間湿地に向かう旧サイクロード沿いには側溝があるため危険である。トラロープを張れる状態にするとよい。（三浦委員）

(3) 文化財の市指定2件について

- ・沓掛城址池跡（SG01）から出土した「天文十七」墨書木札他出土陶磁器等について市の指定とすることについて事務局より提案。

特に「天文十七」墨書銘の木札は沓掛城址の埋土から検出された他の遺物に「西暦1548年」という絶対年代値が与えられ、城の改変を知る上で極めて重要な意味をもつ資料である。

- ・上高根行者堂遺跡出土の軒丸瓦・平瓦・丸瓦について市の指定とすることについて事務局より提案。

特に軒丸瓦は平城京出土の6225系軒丸瓦と比較した場合、瓦当文様を構成する個々の要素の組み合わせが一致し、尾張と三河の両国において寺院など中央政権に直結する機関でしか認められない型式のものとされ、本市にとって希少価値のある重要資料である。また、小規模な瓦葺き建物（古代東海道の駅家に関する施設）が存在し、その一部に使われていた可能性を示すもので本市の交通の様相を考える上で極めて貴重な資料である。

→指定として準備を進めていくことで合意を得る。

(4) 民俗資料廃棄に伴うリスト化について

- ・事務局説明。2月末現在で民具総数2,398点の内5分の1を廃棄対象としてリスト化した。今後も未着手の場所があるため、随時リストに上げていく予定である。
- ・歴史民俗資料調査研究会が廃棄の選別を行った結果を踏まえての一覧となっているが、種類が同じ物でも貴重な物である可能性がある。民具の専門家の意見を通して廃棄の選別を進めていくとよい。
- ・広報3月号で過去に収集した民具を処分する旨の内容を掲載し承諾いただいているが、写真、リストを取っておき、廃棄する時に後付けが分かるようにしておく必要がある。廃棄は慎重に進めていく必要がある。
- ・他に引き取ってもらう方法は業者によって転売される可能性があるので難しい。

3 その他

○市登録歴史的建造物の意向確認について

(事務局 説明)

- ・過去に上げた対象物件3件について、現段階で建物所有者からは耐震の問題を伴うものであり、市からは補助や保障が出るのかといった意見が出ている。保留または了解が得られていない状況である。

(委員)

地域の歴史として写真や設計図を残しておくとうい。

○一之御前安産水の整備計画について

(事務局 説明)

- ・3月に予算が確定する。31年度中に井戸の掘削を行い、水が出れば工事を行って完成する予定である。

○戦人塚整備工事の立ち会いについて

- ・文化財保護委員（岡村委員、永井委員、佐野委員、三浦委員、鈴木委員、近藤委員）立ち会いのもと完了後の現況を確認。

次回文化財保護委員会 平成31年4月25日（木）9時30分から
市役所東館 教育委員会室